

本年度総会開き

石川会長を再任

県コンクリート診断士会

県コンクリート診断士会の本年度総会が29日、福井市の県国際交流会館で開かれ、役員改選で石川裕夏会長（福井宇部生コンクリート）を再任した。副会長は原幹夫氏（日本ピーエス）を再任、山川博樹氏（M・T技研）を新任した。任期はいずれも2年。

委任を含め、約100人の会員が出席した。本年度の事業計画では、新たに教育機関との連携や協働を推進していくことを決めた。学会会員を創設し、県内の大学教授ら学識経験者に参画を働き掛ける。本年度の収支予算、20

15年度の事業報告と収支決算も承認した。

コンクリート診断士は公益社団法人日本コンクリート工学会が認定する資格。県診断士会の正会員は現在、建設やコンサルタント、官公庁などの118人で、県や市町への技術支援、会員の資質向上を図る研修会などに取り組んでいる。

（水口浩樹）